

6年生の皆さんへ

🌀 6年生の皆さんへ

小学校生活最後の年ですね。夏の暑い時も、冬の寒い時も、大好きな野球をいっぱいやってきましたか？

たくさんヒットを打って、たまには？エラーもして、優勝を目指していっぱい練習した君も、1勝を目標に頑張った君も、今のチームで野球をする時間はあと少し。

でも、野球が大好きな君はこれからが本番です。中学校の野球部の多くは軟球（大阪は準硬式）を使っているけど、野球の本場のアメリカは、子供のころから硬球を使っています。甲子園で行われる高校野球も、みんながあこがれのプロ野球も当然硬球です。そして、伊丹ボーイズが所属するボーイズリーグも硬式野球です。

伊丹ボーイズは、硬式野球が思いっきりできる専用グラウンドを持っています。バッティングマシンも4台有ってガンガン打撃練習もできるし、とっても恵まれたチームです。監督やコーチもほかのチームに自慢できるくらい、すごい人たちが教えてくれます。

野球がうまくなりたい、大好き、そんな君を伊丹ボーイズは待っています。僕たちと一緒に野球をやりましょう。



🌀 ボーイズリーグってなに？

日本少年野球連盟(ボーイズリーグ)は、1970年(昭和45年)に大阪で発足。わずか28チームからのスタートでしたが、今や全国39支部に小・中学生の部を合わせ、742チームが加盟する、日本最大の硬式少年野球組織(財・日本野球連盟加盟団体)です。

ボーイズリーグは創立以来「野球を愛好する少年たちに正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて次代を担う少年の健全育成を図る」ことを目的に掲げ、活発な活動を展開しています。そしてその活動内容は毎年、春と夏に全国大会を開催する他、世界少年野球大会、日中、日韓親善試合などの海外交流にも力を入れており、各ブロックでの地区大会は年間140大会にも及んでいます。



🌀 伊丹ボーイズはこんなところ

○普段はどこで練習をしているの？

伊丹ボーイズの専用グラウンドは、能勢の山辺っていうところにあります。「能勢温泉」という宿泊施設のすぐ隣です。一庫ダムから車だと15分ぐらいで行くことができます。

○練習は何をしているのだろう

練習は毎週土日と祝日の朝9時から夕方の6時くらいまでやっています。

準備運動に始まり、キャッチボール、マシンも使ったバッティング練習、守備の基本練習に加え、ゲームを想定した練習などにより、野球の基本から徐々にレベルアップできるように工夫された、いろんなメニューで練習をしています。1年生から3年生まで同じメニューで、ほとんど1日中ボールを使った練習をしています。

水曜日も放課後練習があります。



○試合はどんなところをするのだろう

試合は、本大会と地方大会があって、伊丹ボーイズは年間およそ15を超える大会に参加しています。試合の多くは写真のような野球専用の球場で行われます。球場によっては、でんこうけいじばん電光掲示板に名前が出るところもあるし、アナウンスもしてもらえるから、プロ野球みたいですよ！





硬球は石ころみたいに硬いので、当たればとうぜん痛い。だから練習はみんな真剣。怖さより、打った時の感触などは軟球とは全く違って、打球もぐんぐん飛んでいくので、そんな魅力の方が大きいです！

さあ、僕たちと一緒に野球をやりよう！



保護者の皆さまへ

🌀 はじめに

伊丹ボーイズは、(公財)日本少年野球連盟(愛称:ボーイズリーグ)の兵庫県支部に所属しており、今年で創部20年目のチームです。

手作りで始めた雑草だらけ、石ころだらけだったグラウンドも、今では、外野は芝で覆われバッティングゲージでのマシンを使ったフリーバッティングも可能となり、照明設備もあります。中学生が野球をする環境としては、申し分ない環境だとチーム関係者一同自負しています。また、指導者は社会人野球、大学野球経験者に元プロ野球経験者もあり、ボーイズリーグ関係者はもとより、多くの方から高い評価をいただいています。

中学生の3年間は、高校野球やさらにはその先を目指すために必要な基礎を作る大切な時間です。

この恵まれた環境の中で、私たちと一緒に野球をしませんか。

🌀 活動目的

硬式野球を愛好する少年に正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の練磨とスポーツマンシップの理解に努め、規律を重んずる、明朗な社会人としての基礎を養成し、次代をになう少年の健全育成を図る事を目的とします。

【チームモットー】

下手な子は普通に、普通の子は上手に、上手な子は更に上手に！

【指導方針】

技術の向上は勿論の事、挨拶・思いやり・感謝・出会い・学業等、色々な事を学び、野球人として恥ずかしくない選手の育成。

1. 技術

1. 野球全般のレベルアップと個人の特徴を伸ばす指導。
2. 選手個々の力量(体力・体格・精神力)に合わせた指導。
3. 選手との対話を重視し、お互いが納得した上で次のステップへ。
4. 自分の道具は勿論の事、チームの道具を磨き、物を大切にできる気持ちを持たせる。

2. 挨拶・礼儀

1. 野球を通じ、挨拶が自然に出来る選手の育成。
2. 野球の出来る喜び・楽しさ・感謝の気持ちを素直に表現でき、元気に明るく挨拶・受け答えが出来る選手の育成。

3. 学業

1. 選手の本分は学業であり、チームは学業を優先し各家庭と協力し文武両道を目指す。

② 監督からのメッセージ

野球が上手になりたい、レベルの高い野球をしたいという中学生の気持ちに応えてやりたいというのが、私が監督をする上でのベースになっています。野球選手として成長する為に必要な技術、体力の向上を図りながら、精神力も鍛えられるようなチーム作りを目指しています。

監督 衣笠 寛



② 伊丹ボーイズの組織について

伊丹ボーイズは、団を運営する「役員」、選手を指揮・指導する「指導者」、父兄のとりまとめを行う「育成会」によって組織・運営されています。

1. 役員

代 表	：	山 崎 博		
副 代 表	：	丸 尾 光 司	：	橋 本 昭 雄
	：	西 村 健 市	：	川 嶋 正 次
	：	米 村 誠	：	栗 原 信 広
	：	政 安 浩太郎		
マネージャー	：	河 杉 洋 治		
審判部長	：	稲 垣 亮		
渉外担当OB会会長	：	別 府 智		

2. 指導者

監 督	：	衣 笠 寛		
コ ー チ	：	野 津 洋 幸	：	小 林 広 樹
	：	織 田 信 久	：	渡 辺 照 三
	：	喜多村 和 也	：	小 北 実
	：	山 崎 翔 太	：	高 畑 奨

3. 育成会（保護者により構成）

会 長	：	木 場 孝 志
婦 人 部 長	：	槌 谷 三 佳

🌀 練習時間について

通常練習 : 土・日曜日・祝日 9時~18時 (冬期間8時半~17時)

平日練習 : 水曜日(12~2月冬季を除く) 夕方~

*水曜日の練習は、原則任意参加です。また、伊丹ボーイズの選手は複数の中学校に在籍しているため、学校行事や定期試験などがまちまちなことから、特定の学校に合わせた休日などの設定はしていません。ただし、出席についてはあくまでも学校行事を優先してください。学校行事の欠席は認めていません。



② 費用について

1. 入団時にかかる費用

入 団 金	:	10,000 円
ボーイズリーグ登録料	:	2,000 円 (毎年)
スポーツ安全保険	:	800 円 (毎年)

2. 毎月かかる費用

団 費	:	16,500 円
〈内訳〉		
団費	:	14000 円
育成会費	:	2000 円
災害積立金	:	500 円

3. その他費用

例年、地方遠征等で年に2回程度（7月：和歌山・8月：高松）、宿泊（1泊2日）を伴う大会や、伊丹ボーイズが主催チーム（共催）として大会を運営する、阪神あわじ大会（4月上旬開催予定）については、別途費用がかかります。

4. ユニフォーム等

①公式戦

試合用ユニフォーム（上）、下は白の野球用ウェア、アンダーシャツ(エンジ色)、ストッキング（エンジ色）、帽子（試合用：白に鏢の部分がエンジ色）

②練習試合

セカンダリーユニフォーム（上）、下は白の野球用ウェア、アンダーシャツ(エンジ色)、ストッキング（エンジ色）、帽子（試合用白に鏢の部分がエンジ色）

③通常練習

通常練習は、白の野球用の服装であれば特にメーカー等の指定はありません。

5. 道具

各自で用意してください。おもな道具は次のようなものがあります。

①グローブ

硬式のグローブは高価で、また、守備によって変わります。守備の決定は、本人の適性と希望等を総合的に判断して指導者が決めます。子供さんは早くグローブをほしがりますが、あわててそろえる必要はありません。しばらくは、今持っているグローブで様子を見るのもいいでしょう。

②バット

バットは団所有のものを使っても構いません。ただし、バットは重い軽い長い短いがあるので、できれば入団されてから自分にあったものを購入して頂き、毎日振ってください。

③スパイク

スパイクは黒の単色です。スパイクは裏が皮だとすぐにダメになることが多いので、試合用と練習用に分けて揃える方以外は、合成底のスパイクをお勧めします。

④ 団の運営について

伊丹ボーイズは創部以来、当番制を作らないことを基本に、チーム運営をする方針としています。これは、野球が好きな子供が思う存分野球ができるよう、親が無理のない範囲で、バックアップしていける環境づくりの一環として、現在に至るまで守られているものです。そのため普段の練習に来る父兄も、来ることが可能な父兄によるため多い日もあれば手薄な日もあります。また、選手が大会に行くには交通手段が必要ですが、団ではマイクロバスは持っていません(維持費が高く、すべて親の負担となって跳ね返ってきます)。必要に応じてバスをチャーターすることもあります。多くは父兄の配車で対応しています。「車を出すことができる方が出してください、試合の応援も、来ることができる方は来てください」、といったスタンスです。

ただし誤解のないように・・・

わが子を育てる責任は、当然その親に1番の責任があるので、なんでも任せきりというのでは誰も手を差し伸べてくれません。伊丹ボーイズでは、ご父兄の協力なくしてチームの運営は成り立ちませんので、ケースバイケースで協力をお願いしています。

野球の指導については、指導者にすべて一任されています。子どもたちがより上のレベルで野球を身につけるために、社会人野球もしくは、大学野球経験者が指導に当たっています。子供が野球をするための裏方として親が指導に口出すことは原則としてありません。

🌀 おもな大会について（令和3年スケジュール）

- ・ 春季大会（支部予選） : 2月中旬
- ・ 阪神あわじ大会（共催大会） : 4月上旬
- ・ 兵庫のじきく大会 : 4月下旬
- ・ 綾部大会 : 5月上旬
- ・ 龍野大会 : 5月上旬
- ・ 関西さわやか大会（1年生） : 5月中旬
- ・ 選手権大会（支部予選） : 6月上旬
- ・ 紀州興起大会（宿泊） : 7月下旬
- ・ 高松大会（宿泊） : 8月上旬
- ・ 北河内大会 : 8月下旬
- ・ 明石大会 : 9月上旬
- ・ 関西秋季大会（支部予選） : 9月中旬～
- ・ 兵庫1年生大会 : 10月下旬～
- ・ 大阪東大会 : 11月上旬～

来年度も上記大会に参加（予定）していますが、変わる場合もあります。
※昨年度より新型コロナの影響で残念ながら中止になった試合もあります。

🌀 連絡先のご案内

e-mail : boysitami@gmail.com

伊丹ボーイズはHPも開設していますので、そちらも合わせてご覧ください。

URL : <http://itamiboys.iocl.jp>

🌀 最後に

野球が好きなお子供たちに、最高の環境を与えてあげたい。そんな思いで私たちはチームを運営しています。